

高等学校公民科（政治・経済）採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
①	1 (イ)		4	
	2 環境影響評価法	環境アセスメント法 もよい。	4	
	3 インフォームド・コンセント	インフォームドコンセント, 説明と同意 もよい。	4	
	4 辞讓の心		4	
	5 心齋坐忘		4	
	6 (ウ)		4	
	7	(1) イ		4
		(2) 神		4
	8 (ウ)		4	
	9 エドワード・サイード	サイード もよい。	4	
	10 エ		4	
	11 二元代表制		4	
	12 実用新案権	実用新案 もよい。	4	
	13 73 億円		4	
	14 (イ)		4	
15	(A) (ウ)	2つとも合っているものだけを正答とする。	4	
	(D) (カ)			
②	地域間 地域によってブロードバンドインフラ等の環境整備に格差がある。	2つとも合っているものだけを正答とする。 問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。	6	
	個人間・ 集団間 60歳以上では他の年齢層に比べインターネットの利用率が低い。			
2	国や企業などで二酸化炭素の排出量をあらかじめ割り振っておき、権利を上回って排出した主体と権利を下回って排出した主体との間で、その権利を市場で売買する制度。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてよい。	6	
③	1 悲しみをはしゃぐことでごまかすなど、実際とは逆の態度や行動の型を誇張することで心の安定を保つはたらきのこと。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてよい。	6	
	2 人間は一茎の葦のように、自然の中で最も弱い存在であるが、自分の弱さや悲惨さを自覚することができる点に人間の偉大さがあり、人間の尊厳は「考えること」にあるという意味。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてよい。	6	
1	法律では規定の枠組みだけを決めて、その内容の詳細は行政に委任して、政令・省令・規則などで定めること。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてよい。	6	
④	2 式 (歳入－国債発行等により得られる借入金) < (歳出－過去の借入金に対する元利払い費)	(歳出－過去の借入金に対する元利払い費) > (歳入－国債発行等により得られる借入金) もよい。	4	
	影響 財政の硬直化	内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてよい。	6	

高等学校公民科（政治・経済）採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)		採 点 上 の 注 意	配 点	
5	資料 Ⅰ	資料名	ワイマール憲法	ヴァイマル憲法, ドイツ共和国憲法 もよい。	4
		学習内容	日本の社会保障		
		理由	日本の社会保障の基本は, 社会保険, 公的扶助, 社会福祉, 公衆衛生であり, それらは国民の生存権を保障するためにある。資料の「すべての者に人間たるに値する生活を保障する」という文を引用することで, 社会保障の基本的な考え方である生存権についての学習に活用できると考えたため。 また, 「健康および労働能力を維持し, 母性を保護し, かつ, 老齢, 虚弱および, 生活の転変にそなえるために」という文を引用することで, 社会福祉や社会保険の学習に活用できると考えたため。	問いを正しくとらえていれば, 内容は異なっていてよい。	1 2
	資料 Ⅱ	資料名	フランス人権宣言	人および市民の権利宣言 もよい。	4
		学習内容	法の支配		
		理由	法の支配とは, 権力者の思うままの政治を排し, すべての人々が従う普遍的なルールによって政治を行おうとするもので, その普遍的なルールを明記した憲法に従って政治を行おうとするのが立憲主義である。資料の「権利の保障が確保されず, 権力の分立が規定されないすべての社会は, 憲法をもつものではない。」という文を引用することで, 法の支配は, 普遍的なルールである基本的人権の保障のためにあること, 人の支配を排し, 法の支配を実現するためには権力分立が必要であること, それらを憲法に明記することで法の支配が実現されることなど, 法の支配についての学習に活用できると考えたため。	問いを正しくとらえていれば, 内容は異なっていてよい。	1 2
	資料 Ⅲ	資料名	アメリカ独立宣言		4
		学習内容	社会契約説		
		理由	資料の「一定の奪いがたい天賦の権利を付与され, そのなかに生命, 自由および幸福の追求の含まれることを信ずる。」「これらの権利を確保するために人類のあいだに政府が組織されたこと」という文を引用することで, 自然権や社会契約論における政府の目的についての学習に活用できると考えたため。 また, 「人民はそれを改廃し, かれらの安全と幸福とをもたらしべしとみとめられる主義を基礎とし, また権限の機構をもつ, 新たな政府を組織する権利を有することを信ずる。」という文を引用し, 社会契約説を唱えたロックの抵抗権(革命権)の思想が市民革命に反映されていることへの理解に活用できると考えたため。	問いを正しくとらえていれば, 内容は異なっていてよい。	1 2
				4 8	

高等学校公民科（政治・経済）採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点	
6	1 第1次高度経済成長期は、国内需要に支えられていた。それは資料Ⅰにある三種の神器が普及し、耐久消費財が売れたという記述から判断できる。しかし、高度経済成長に伴う原材料や燃料などの輸入が徐々に増え、資料Ⅱにあるように1955年から64年にかけて輸入が輸出を上回る状態が続き、また、1ドル＝360円の固定為替相場制も影響したため、外貨準備高が伸び悩んでいた。外貨不足を避けるためには外貨の流出を防ぐ、つまり原材料や資源の輸入を減少させる必要があったため。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	12	24
	2 第2次高度経済成長期は、資料Ⅰに「いざなぎ景気」、「日本製品の国際競争力が高まった」と示されており、日本製品の輸出が活発であった時期であることが分かる。資料Ⅱで、輸出が活発であった時期を確認すると、1965年に輸出が輸入を上回り、かつ経常収支の黒字化が見られるようになっている。この1965年以降、輸出が伸び、ほぼ毎年経常収支の黒字が見られるようになったため、1965年から第2次高度経済成長期が始まったと考えられる。		12	
7	生徒は、主権国家の上に立つ強制力を持った国際機関が存在すべきだと考えており、国際政治と国内政治の違いについての理解が不十分であると思われる。よって、国内政治の場合、政府のような強制力を持った機関が国を統治するが、国際政治の場合は、すべての国が主権を有しており、国家間の上に立つ権力は存在しないという違いがあることを理解させる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	12	
8	自国内で生産費が相対的に安価な財の生産に各国が特化し、自由に貿易を行うことで、それぞれの国に利益がもたらされるという比較優位の考え方について理解させ、貿易の意義と役割について気付かせる。	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各6	12
	比較優位の考え方に基づく自由貿易論と保護貿易論とを対比させながら、現代の貿易問題と関連させて理解させる。		×2	